

# 2023年度 事業計画



Ver1.0

2023年6月29日

一般社団法人iCD協会

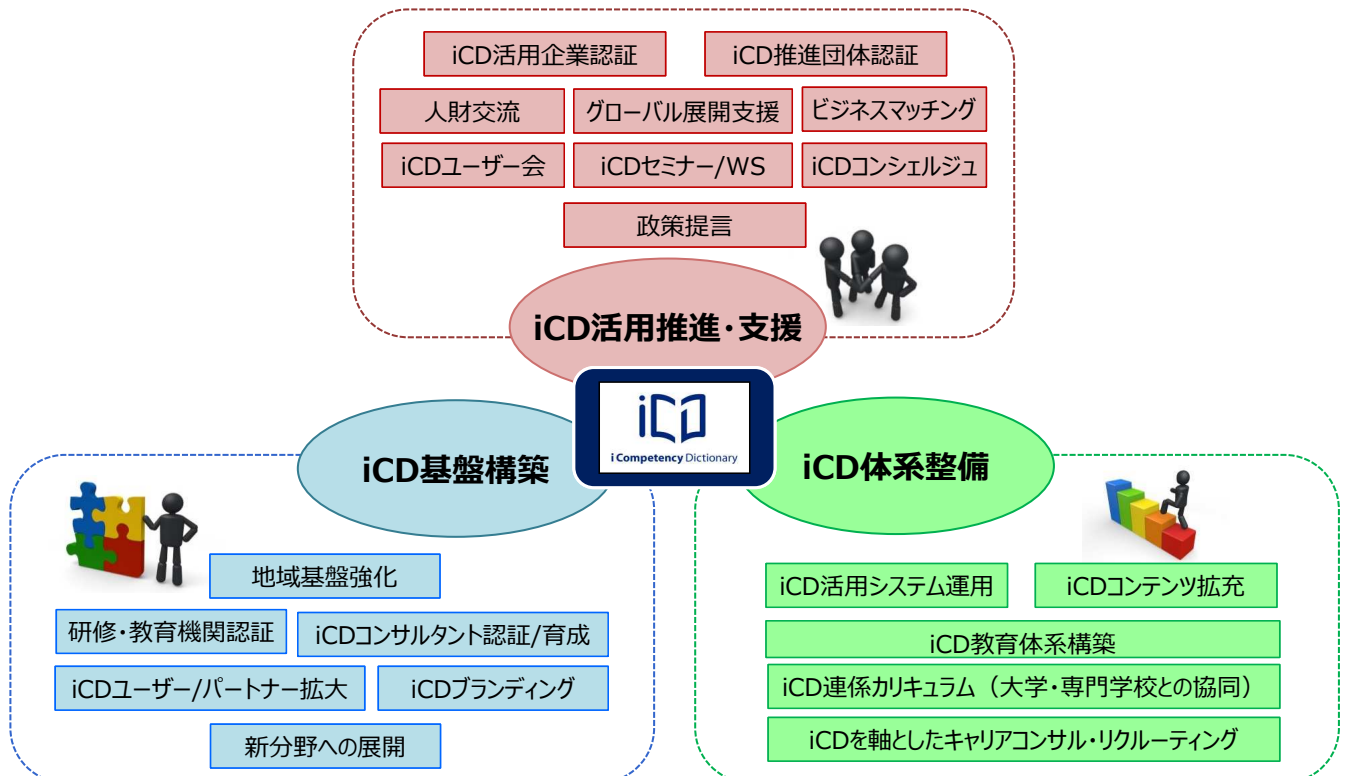
Copyright 2023© All rights reserved, iCD Association

1

## 事業ビジョン



### iCDの力で会社を、人を元気にする



Copyright 2023© All rights reserved, iCD Association

2

デジタルトランスフォーメーション時代到来に向け、  
iCD とそのコンセプトを武器として地域を含めた  
日本の企業（ IT企業、ユーザー企業 ）における  
経営改革を支援する。

## 活動方針 1/2

### 1.iCDの認知度を上げ、企業による実際の活用の機会をつくる

ユーザー会や説明会等により国内でのiCD認知度の向上を図るとともに、iCD活用ワークショップ等の実活用の機会を提供して幅広いiCDのファン作りを行う。

### 2.「iCD活用企業認証制度」を運営し、iCD活用企業の拡大を図る

iCDを活用している企業の事例収集と他企業への紹介を目的として「iCD活用企業認証制度」を運営し、iCDを活用する企業の一層の拡大を図る。

### 3.iCDを活用している企業の発展を支援する

iCDを活用している企業同士の情報交換を実施し、活用コンサルテーション等のサポートを実施する。また、企業同士の人材交流やビジネスマッチングを図り、活用企業の発展を支援する。

### 4.iCDコンテンツの内容を更新する

企業活動の業務（仕事）を整理したタスクディクショナリと、タスクを遂行するために必要な能力を整理したスキルディクショナリにつき、内外の環境の変化やユーザーニーズに応じて逐次ブラッシュアップし、グローバル標準として高度な内容を維持する。

## 5. iCDシステムの活用を推進する

協会が認定した「iCD活用システム」につき、広くiCD活用企業への紹介に努め、各企業がスムーズに運営できるような推進を行う。

## 6. iCDを活用した教育体系を確立する

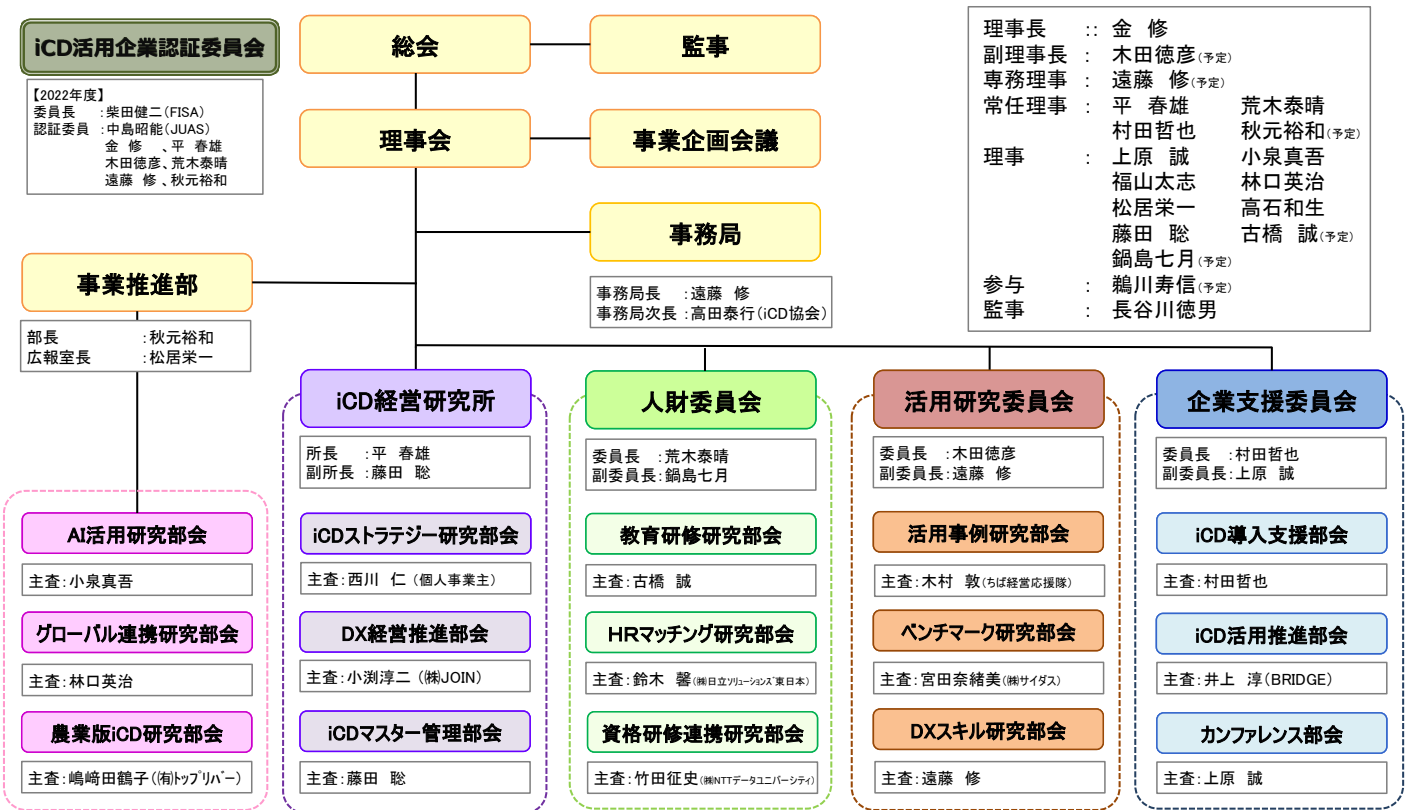
学校関係および教育事業者等と協力し、iCDを活用した人材育成施策を実行する体制を確立する。また、それらの機関をiCDエデュケーターとして認証し、カリキュラムや研修手法を研究する。

## 7. iCDの海外展開を促進する

海外のスキル標準と密に連携し、iCDのプレゼンスを高めるような活動を行うほか、連携の結果をiCD活用企業に展開し、企業のグローバル化のサポートを行う。

# 2023年度 事業計画

# 1. 2023年度の組織体制



【注釈】 氏名に付記されている(カッコ内)は所属を示す。  
 (カッコ内)が付記されていない場合は、常任理事・理事を参照のこと。

# 2. 重点施策

## (1) 「タスク拡充」と「スキル強化」による iCDの辞書としての位置づけの確立と発展

- ◆事業内容 iCDのタスクを継続して拡充するとともに、DX等で必要とされる新たな分野を含めたスキルの強化を図る。これにより、iCDの辞書としての位置づけを確立し発展させる。  
 〈タスクの拡充予定〉 アライアンス、厚労省の能力基準データの取り込み 等  
 〈スキル見直し予定〉 デジタルスキル標準の対象スキル拡充、AIやメタバース等の新分野対応 等
- ◆利用者想定 iCDを活用して経営(事業)・組織(制度)・個人(育成)等の各種施策を推進する皆様。

## (2) 「Wings」「デジタルスキル標準」等のフレームワーク活用による能力等可視化の促進

- ◆事業内容 iCDにより定義されたタスク遂行やスキル保有等の能力を、各種フレームワークにより視覚的に把握することを可能とし、ビジネス(マッチングを含む)機会の拡大や精度向上を図る。  
 〈対象フレーム〉 Wings: グローバル標準(SFIA)とコラボし iCDタスクで定義した指針  
 デジタルスキル標準(DSS): 経産省/IPAより公開された指針 等
- ◆利用者想定 人材や研修等を客観的に可視化し、ビジネス展開を図る経営・派遣・研修事業の皆様。

## (3) 資格や研修の位置づけ情報の提供基盤の研究

- ◆事業内容 iCDのタスクやスキルに関連付けられた資格や研修の活性化を目的に、その位置づけ(対象分野やレベル感等)を可視化し、検索できる仕組み(提供基盤)について研究する。
- ◆利用者想定 研究活動は、資格や研修の事業を生業(なりわい)としている皆様を主体とする。そのなかで、関連省庁/団体等と協調しながら、上記(2)と連携した効果を目指す。

## 3. iCD経営研究所

### (1) デクショナリの戦略的活用システムの企画、書籍の企画と普及 **【iCDストラテジー研究部会】**

- ◆事業内容 会員やコンサルタントがタスク(将来的にはスキルも視野に入れて)を効果的に選択できる仕組みを考案し、ChatGPTと自然言語検索技術の応用で検証する。  
人的資本を中心に据えた経営のあり方の実現を目指した書籍の執筆及び、タスクの構築を進める。コンサルタント、アドバイザーの認証を実施するとともに、本研究部会の成果を活用しながら、そのコミュニティを企画・運営する。
- ◆利用者想定 「iCDの戦略的活用を目指す皆様、人事資産を中心に据えた経営の在り方」に関心ある皆様

### (2) DXによる経営変革の実現にむけたコンサルティングサービスの提供 **【DX経営推進部会】**

- ◆事業内容 ジョブ型マネジメント知識体系(JMBOK)の提供を軸に、DXによる経営改革を支援するコンサルティングサービスの企画・設計・提供を担う。
- ◆利用者想定 DXによる経営変革を目指す組織の経営層(企画/人事等を含む)の皆様

### (3) iCDタスクの拡充を目的とした体系整備とマスター管理 **【iCDマスター管理部会】**

- ◆事業内容 iCD協会活動において作成(拡充・追加・変更を含む)されたタスクを整備し、タスク体系に組み込み、マスター管理するとともに、その普及を支援する。
- ◆利用者想定 iCDを活用されるすべての皆様 (特に、iCDの最新動向に関心ある皆様)

## 4. 人財委員会

### (1) 研修事業者の情報共有の場の円滑運営と事業水準の向上 **【教育研修研究部会】**

- ◆事業内容 IT関連の特定研修事業者が参集し、ビジネス課題やその対処法等を共有、ならびに事業水準の向上を図る。さらに、iCD / DXスキル標準等を活用した、人材育成に対する取り組みを共有し、フレームワーク活用と研修の可視化を定義、更新する。  
また、教育研修研究部会に所属する研修事業者の営業部門担当者により、各社のオープンコースの検索・申込を共通化するなど、ビジネス基盤の整備等による研修利用者の利便性向上を図る。**【研修事業営業分科会】**
- ◆参加メンバー 研修事業者の動向把握や、各社の研修の比較/選択を検討されている皆様。

### (2) iCD活用による人材派遣・調達精度向上と効率化 **【HRマッチング研究部会】**

- ◆事業内容 人材派遣・調達のマッチング精度の向上を目的に、iCDを尺度としたガイドラインを提供する。そのうえで、取引の多重構造の解消に努める。マッチングTOOLの開発と改良の実証事業を行う。  
(利用ツール) リソース管理システム(日立ソリューションズ東日本)  
EiDB(エンテックス)・あたりずむ(iCD協会推奨システム:ファインドゲート)
- ◆参加メンバー **【募集中】** 人的資源のアピールと、その調達・雇用を事業としている皆様。

### (3) 資格や研修の事業水準向上にむけた研究 **【資格研修連携研究部会】**

- ◆事業内容 デジタル社会化促進の為に「人への投資」へ寄与する目的で、iCDに関連付けられた資格や研修の位置づけ(対象分野やレベル感)の可視化や、その提供基盤等について研究する。
- ◆参加メンバー 検討中(研究活動は、資格や研修の事業を生業(なりわい)としている皆様を主体とする予定)



## 5. 活用研究委員会

### (1) iCDを活用し事業活性化や人材育成を推進するための相互研鑽【活用事例研究部会】

- ◆活動内容 「iCD活用カルテの集計と分析」「iCD活用企業認証の活用と制度の再検討」「iCD活用企業との意見交換」等とおして、iCD適用やそれに関わる事業運営の推進能力向上を図る。
- ◆参加メンバー iCDコンサルタント認証、またはそれに準じるスキル習得を目指す会員組織に所属する有志。

### (2) 「Wings」「DSS」等のフレームワーク活用による能力等可視化の研究【ベンチマーク研究部会】

- ◆事業内容 iCDにより定義されたタスク遂行やスキル保有等の能力を、各種フレームワークにより可視化し業界標準で把握することを可能とし、ビジネス機会拡大やビジネス基盤精度向上等を図る。  
〈対象フレーム〉 Wings(弊協会によるSFIAとコラボした指針)、DSS(デジタルスキル標準)、デジタル田園都市構想の地域DXプロデューサ等を想定
- ◆参加メンバー 各種フレームワークの分析と活用と、その施策化に関心がある会員企業に属する有志。

### (3) 「スキル強化」による iCDの辞書としての位置づけの確立と発展【DXスキル研究部会】

- ◆事業内容 iCDのタスク拡充と並行して、DXやAI活用等で必要とされる新たな分野を含めたスキルの強化を図る。これにより、iCDの辞書としての位置づけを確立し発展させる。  
〈スキル見直し〉 デジタルスキル標準の対象スキル拡充、AIやメタバース等の新分野対応
- ◆参加メンバー iCDを活用して経営(事業)・組織(制度)・個人(育成)等の各種施策を推進する皆様。

## 6. 企業支援委員会

### (1) iCDに興味を持つ企業・団体の支援【iCD導入支援部会】

- ◆事業内容 iCDの周知・紹介・普及活動を目的として、以下のようなイベント等について企画し実施する。  
① iCD未導入企業向けセミナーの開催 ② iCD導入予定企業向け研修の実施  
iCD紹介セミナー(年 10~12回)、iCDカレッジ【人材育成&業務改善・実践コース】
- ◆利用者想定 iCDの概要を把握し、導入にむけたノウハウを習得したい皆様。

### (2) iCD活用企業の課題解決にむけた支援【iCD活用推進部会】

- ◆事業内容 iCD活用上の課題や事例を共有する目的で、以下のような活動の企画・実施・報告を担う。  
① iCD活用企業向けセミナーの開催 ② iCD協会員同士の交流促進  
iCDユーズ会(年 5回)、iCDオフ会(年 5回)の開催
- ◆利用者想定 iCD活用を前提とした情報交換の場とおして、事業の在り方や改善・変革を検討される皆様。

### (3) 社会にiCDの認知してもらい、一層の普及促進をする【カンファレンス部会】

- ◆事業内容 事業発展にむけた話題をテーマとし、iCD活用の有益性を含めた情報共有の場を提供する。  
① iCD最新情報 ② iCD協会の活動成果 ③ iCD最新事例 ④ iCDに関連する政策、の発信  
iCDカンファレンス(年 2回)
- ◆利用者想定 自組織の改善・変革の方向性や、その具体的な実現に向けた施策を検討される皆様。

## 6. iCD活用企業認証委員会

### (1) iCD活用企業認証制度の運用 [iCD活用企業認証委員会]

- ◆事業内容 各企業のiCDの活用状況や成果の創出状況を確認して、そのレベル(6段階)に応じた認証を実施する。その結果と、認定企業各社の取り組みの詳細を公表することで、iCDの有効性を確認し、さらに普及促進を図るための活動を強化する。
- ◆利用者想定 iCD活用について、他社の状況を確認するとともに、自社の状況を公開し関係者と共有することで、さらなるiCD活用成果向上を目指す皆様。

## 7. 独立した部会活動

### (1) 「ビジネス×AI」を推進できる人財育成の仕組みづくりに関する研究活動 [AI活用研究部会]

- ◆事業内容 「iCD協会(AIタスクディクショナリ)」と「人工知能学会(AIマップ)」の両会員の共同作業により、AI開発(PoC)の進め方(課題設定・技術探索、検討ステップとタスク)を設計、検証し、AI中核人財の育成を促進する。
- ◆参加メンバー 【募集中】AI開発を主導できる人財育成に関心があり、上記の作業会に参加可能な皆様。

### (2) iCDのグローバルな展開を目指したコンテンツと環境の整備 [グローバル連携研究部会]

- ◆事業内容 グローバル標準「SFIA」および海外組織との継続した連携を促進し発信する。具体的には、SFIAの動きに応じてiCDおよびWingsの向上を図るとともに、iCDのISO登録を早大と協力して推進する。
- ◆参加メンバー グローバルな視点でのスキル指標やその動向等に関心ある皆様。

### (3) 農業人材の成長を見える化する農業版iCDの普及展開 [農業版iCD研究部会]

- ◆事業内容 既存公開済みの「農業版iCD」における耕種分類の拡充を目指すとともに、スマートファーマー育成にむけた活動の相互研鑽や、教育体系の充実を図る。
- ◆参加メンバー 農業界での人材育成等でのiCD活用、さらには他業態への展開等に関心ある皆様。

## 8. 2023年度における新たな試み

### ① 【新たな研究】 iCD(タスク・スキル)の提供形態の変革

- ◆目的 自然言語検索や生成AIを活用し、Excelシートと比較し「検索」「問い合わせ」「調査・分析」機能等の利便性を高めた iCD(タスク・スキル)の提供について研究する。
- ◆具体的な施策 自然言語的な文章入力による検索サービスや、生成AIによる公開情報を参照したアシスト機能により、辞書としての iCD活用の利便性や実用性の向上を目指す。

### ② 【新サービスの実現】 Wings以外のフレームワークによる分析支援

- ◆目的 iCD活用企業には、従業員の iCD診断データをWingsフレームワークにマッピングし、可視化するサービスを実現済みである。この手法の他のフレームワークへの適用について、支援する。
- ◆具体的な施策 他のフレームとして想定しているのは、デジタルスキル標準(経産省/IPA)、デジタル田園都市国家構想(内閣官房/デジ庁)など。マッピングにあたり、ルールの個別調整が必要と想定している。

### ③ 【紹介機能の拡充】 ビジネス価値創造を目的とした iCDの Industry(産業)分野への拡大

- ◆目的 iCD活用によるビジネス価値創造を目的として、iCDの活用事例や協会活動を適時適格に紹介し、IT分野に止まることなく多様な分野でのビジネス変革と活性化を促す。
- ◆具体的な施策 多様な事業(経営変革、AI、人材調達等)や産業(農業等)の紹介機能を、HPほかの広報手段にて拡充し、「ジョブ型」をスローガンとした iCDの Industry(産業)分野への拡大を目指す。

# End of File